

肺炎予防のために 成人用肺炎球菌ワクチンの 接種費用を助成します

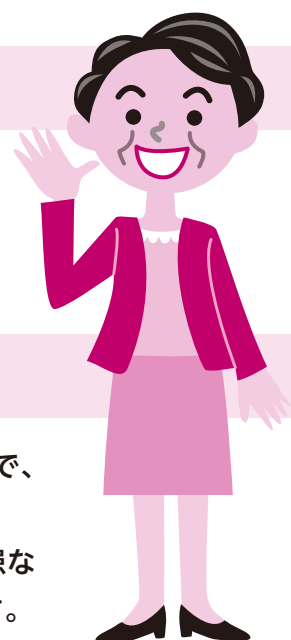
肺炎は、日本人の**死因**の第**4**位です

日本人の死因のトップ3は、がん・心疾患・脳血管疾患ですが、ついで肺炎が4番目です。特に65歳以上の男女とも肺炎での死亡率が増加傾向にあります。また、風邪やインフルエンザが原因で発症すること多いとされています。

肺炎の原因は、**肺炎球菌**が第**1**位

肺炎になる原因の病原体はさまざまですが、成人に多いのが肺炎球菌という細菌で、65歳以上では、肺炎の原因菌の第1位を占めています。

免疫力が低下している高齢の方や、基礎疾患（糖尿病や心臓病、慢性呼吸器疾患など）がある方は肺炎球菌感染症になりやすく、また、重症化しやすいといわれています。



助成
について

お住まいの市町村を通じて接種された
自己負担分を助成いたします。

*市町村によって自己負担分は異なります。

〈お問い合わせは当国保組合 TEL. 06-6942-1691 に〉

このワクチンは任意接種ですので、医師と十分ご相談の上、接種するかどうかをご判断ください。

肺炎球菌感染症による肺炎

こんな方は特に注意が必要です

• 65 歳以上の方

• 糖尿病の方

• 慢性心不全の方

• 呼吸器に疾患を
持っている方（COPD など）



ひ そ う
• 脾臓摘出など
脾臓機能不全のある方

• 肝硬変などの
慢性肝疾患の方

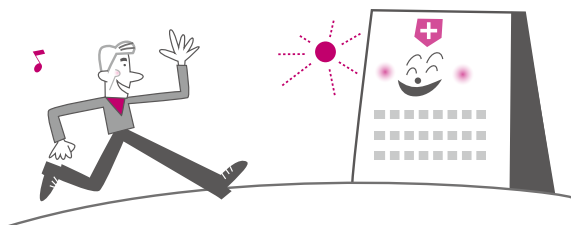
• 病気や免疫抑制剤療法のため
感染症にかかりやすい方

COPD とは…慢性閉塞性肺疾患のこと。息切れやせき・たんが慢性的に生じて、重症化すると、呼吸不全や心不全に陥る。

接種にあたっての注意

接種は体調のよい日に。

健康状態がよくない場合は、医師と相談のうえ、
接種するかどうかを決めましょう。



接種を受けた後の注意

- 急な副反応が起きることがあるので、接種後30分間ぐらいは医師と連絡できる状態にしておく。
- 接種部位は清潔に保ち、こすらないようにする。
- 接種当日は激しい運動や大量の飲酒は避ける。
- 接種後1週間は副反応の出現に注意する。
- 接種部位の異常反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診断を受ける。



次の方は接種を 控えましょう

- 発熱がある。
- 重篤な急性疾患にかかっている。
- 肺炎球菌予防接種の接種液成分によってアナフィラキシー（全身のアレルギー反応）を起こしたことがある。
- 5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある。
- 医師に体調などが不適當な状態と判断された。



副反応について

接種後に注射部位の腫れや痛み、赤みなどがみられます。また、発熱や筋肉痛、倦怠感などが生じることがありますが、通常3～4日以内に自然に消失します。

★副反応が強く出た場合、すぐ医師にご相談下さい。

